

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4490800093		
法人名	特定非営利活動法人しらゆり		
事業所名	グループホームしらゆり萩		
所在地	大分県竹田市萩町瓜作4575-1		
自己評価作成日	平成27年2月10日	評価結果市町村受理日	平成27年6月10日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	福祉サービス評価センターおおいた		
所在地	大分県大分市大津町2丁目1番41号		
訪問調査日	平成27年3月11日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自然に囲まれ恵まれた環境の中で自立した生活を支援します。自分の思いを大切にアットホームな環境を提供します。地域との連携を密にして地域の人々と共存出来るよう考えています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・3食とも職員が手作りの食事を提供している。また、ラッキョウ漬けや梅漬け、奈良漬け等季節ごとの保存食作りを利用者の力を活かしながら職員と一緒にやっている。
 ・毎月、利用者との懇談会を行い、利用者の思いに寄り添うケアを行っている。
 ・事業所が保育園の跡地でもあり地域住民とのなじみも深く、住民も協力的で地域住民とのつながりを大切にしている。
 ・久住山、祖母傾山を遠くに望み、四季折々の花や景色が楽しめる環境である。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

評価機関：福祉サービス評価センターおおいた

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念の実践に努めている	3つの理念を掲げ、利用者や家族にも口頭で伝えている。事務室に掲示しており、毎日目を通して。職員は週一回のミーティング時や月一回の会議で理念の振り返りを行っている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域に開かれた施設としての交流を常に意識して行動している、シニアクラブ等の交流会に参加しています。	シニアクラブとの交流会や公民館行事、ふれあいフェスタなどに参加している。「愛のトマト便」として地域の方がトマトを届けてくれたり、棟上の餅まきに招待してくれたり、ドライブにバスの提供をしてくれるなど地域との交流が活発である。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ふれあいフェスタを通じて地域の皆さんに呼びかけをしています、		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	皆さんが積極的に会議に参加して下さいます。外部評価の報告もしておりますが運営に関しての意見があまり無いように思います。	自治会長、民生委員、愛育班長、地域の代表、行政、家族の代表等参加者が多い。推進委員がバス旅行の運転や消火訓練に協力している。災害時の連絡網作成の意見が出され、運営に反映している。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護保険課には入退所の報告等行って毎月1度は顔出すようにしております。	運営推進会議に市職員の出席があり、会議で実情を報告したり相談を行っている。介護保険制度上の疑問点や不明な事はその都度、相談している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束はしておりません。玄関の施錠もしてませんがご家族の不安解消のため外にセンサーを付けてます。	園庭の外門の出入り口にセンサーを設置しているが、保育園の跡地の為、園庭が広いので閉塞感は感じられない。一人で出かけようとする利用者には一緒に出かけたり、中庭で日向ぼっこをしたり、お茶を飲んだり工夫している。	

事業者名:グループホームしらゆり萩

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の研修に参加し、虐待の実情をインターネットで見て何が虐待になるのかを知るようにしております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	毎月1回の会議に成年後見をされている社会福祉士に来ていただいています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	充分説明をしております。理解を得ていると思います。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	必ず皆さん月1回は来ていただいているのでなるべくお話をするようにしております。	月一回の利用料支払い時や毎週面会に来る家族もいるので、その時に気軽に意向を聞いている。物盗られ妄想の利用者の家族からの要望に対して、職員で検討し支援に反映している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎週1度はミーティングするようにしております。	職員の意見や提案はその都度ミーティングノートに記録している。その記録に対して管理者がその都度対応している。検討が必要な提案や意見は月一回の会議で話し合い、反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	出来限り働き甲斐のある職場にしたいと努力しております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修は勤務とし、研修手当を支給し積極的に取り組んでいる		

評価機関：福祉サービス評価センターおおいた

事業者名:グループホームしらゆり荻

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	竹田地域小規模事業所連絡協議会で他施設の方々同じ研修会で交流に努めています		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の思いを大事にするように心がけています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居者さんのために家族との信頼がだいじなことでその努力はしております		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人のしたいこと、ありたいこと、出来る事を探しながら一緒に生活するという処遇を心がけています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人と一緒に生活できるように心がけております		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人と家族の連絡、調整をしながら家族と一緒に処遇するおもいで連携をしております		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族の絆を大切に、電話で話をしたり、行事に参加していただいています	親戚が訪問してくれたり、訪ねることもある。ふるさと祭りに招待されて出かけることもある。	

事業者名:グループホームしらゆり萩

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	想い、人生観、個人の歴史、好み等が違うので孤立しないように努めております		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	家族の都合で退去になったり入院のため退去になった方がいます、淋しくないように職員で面会や相談等支援を継続していきます		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で、本人の言動、行動を把握し、得られた情報を職員で共有している	日々の関わりを通して、利用者の関心度の高い情報を意識的に聞いている。提案しても言葉での意思表示の困難な利用者にはジェスチャーや筆談などで確認している。月一回の入居者との懇談会で意向を把握している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族との連携に努め、本人の意向に添うように努めております		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	努めております		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンスを開催し介護計画を作成し家族に説明し同意を得ています、変更があればモニタリングも行い、現状に即した計画を作成しています	介護計画書はアセスメント表を基に一人ひとりの思いに沿って、管理者、介護支援専門員、担当職員で作成している。作成後は、皆で確認し、ケア方法を共有している。3ヶ月に一度見直し、計画に反映している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護職員、計画作成担当者と会議を行い情報を共有しています		

評価機関： 福祉サービス評価センターおおいた

事業者名:グループホームしらゆり萩

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	デイサービスを開設しましたが、サービスの多機能化には取り組めていません		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアの会、シニアクラブ、子育ての会とのお楽しみかことができました		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医の受診や協力医、専門病院の受診を支援し、医療との関係も築いている変化がある場合は家族へ報告、情報提供をしている、往診もしている	本人、家族の希望で3箇所のかかりつけ医となっている。2週間に1回の訪問診療や24時間体制で医師や看護師の対応もあり、適切な医療を受ける事が出来る。専門医の受診は家族が行っている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	常勤の看護師がいるので適切な受診や主治医、専門医との連携はとれている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時、情報を作成し関係機関に提供をしています、医療関係の方々とは常に情報交換をしております、医師会病院、緒方病院、大久保病院等。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	寝たきりになっても対応は出来ませんが、医療行為等で不可能な場合は御家族と話し合いを行いたい	重度化、終末期の方針も文書化され、入居時に説明をしている。終末期の看取りについて家族との確認が文書化されている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	今年度3人は救急救命講習を受けた、また次年度も計画しています		

評価機関： 福祉サービス評価センターおおいた

事業者名:グループホームしらゆり荻

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災等災害時なは推進委員さんの協力を頂けるようお願いをしている職員が近くに住んでるのが安心できます、	年2回、昼間、夜間を想定し、利用者参加で避難訓練を行っている。地域の消防団員が推進委員でもあり、地域の住民も協力的である。災害情報などは地域のケーブル放送で伝わっている。近隣の住民の為にも備蓄は多めにしている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライドを傷つけないように見守りし支援に努めております	汚れ物を気にする利用者には汚れ物入れ専用のバケツを用意し、本人のいない時にさり気なく持ち出し洗濯したり、言葉がけなども工夫し人格や誇りを傷つけないように常に意識して対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	出来るだけその思いに添って支援していきたい		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	自由に一日を過ごして頂けたら一番良いと思っています、		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2月に1度の散髪支援、男性は毎日のヒゲ剃りを手伝い、服も選んであげます。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	出来るだけ手伝っていただく様にしておりませす、お盆を拭く、モヤシの根を取る等、天気の良い日には庭でおにぎりを食べたりします	3食とも職員が手作りで、優しい食事の提供に努めている。利用者も露の皮むきやもやしの根取りや、梅漬けやラッキョウ漬けなど季節の保存食を職員と一緒に作っている。職員も一緒に同じものを同じ場所で食べている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、おやつの中には必ず水分を摂って頂けるように声掛けを慕います。		

評価機関： 福祉サービス評価センターおおいた

事業者名:グループホームしらゆり荻

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後歯磨きするように手伝ったり見守ったりしています		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	時間ごとに職員が声掛けをしています	夜間のみオムツ対応の利用者が数名いるが、日中は車椅子使用の利用者もトイレでの排泄を行っている。ポータブルトイレの使用はせず、排泄表に沿って、トイレへの声かけ誘導をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	運動や食事に留意しています		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	9人の方を入浴していただくには希望通りは難しく、本人の意は尊重して入っていただく様にしています	週4回の入浴日を設定し、2回入浴をしている。希望があれば3回入ることも出来る。現在は一般浴で入浴できるが利用者が重度化しても入れるように福祉機器を整備している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	安心して寝られるように配慮しています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の管理、介助、と変化の把握に努めて居ります		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	楽しみや気分転換に心がけております		

事業者名:グループホームしらゆり荻

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	春はバス旅行に秋は近場で外食するようにしてます、家族の方にも声は掛けていますが、地域の会社がバスを提供してくれています。	近隣に散歩に出かけたり、事業所が保育園の跡地で園庭が広い為、園庭内を自由に散歩が出来るようにしている。季節ごとの花見や外食などには、バスでドライブに出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金は持っていません、外出時には買い物が出来方方には渡しております、家族の了解の上。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	年賀状を作成してが家族に出すようにしております、遠くに居るご家族に電話をしたりします		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	床暖房が設置してあり、今年からファンヒーターも付け暖かく過ごせる様にしました、外にはベンチもあり季節の花が楽しめられるようにしております	日当たりが良く、自然の採光に温か味を感じられ、のどかな環境の中で穏やかに過ごしている。庭には桜の木や梅の木、コブシの木、柿の木など多くの樹木があり、四季を感じる事が出来る。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室、デイルーム、ホール等いつでも自由に過ごして頂けるようにしております		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	写真、カレンダー等を置いて安心して暮せるように配慮するように努めております	折り紙の雑飾りや、昔活躍していた頃の写真や、家族写真、化粧品など、一人ひとりの生活歴が伺え、安心して暮らせる居心地の良い居室になっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すり、コール等があり自分のペース生活出来るよう配慮しています		

評価機関： 福祉サービス評価センターおおいた